

漫湖水鳥・湿地センター

たよひ

2004年6月20日発行

No. 12



おかげ様で1周年を迎えました～！
1周年記念行事開催！

5月29・30日



小中学生の漫湖に関する発表会



豊見城市長のご挨拶



ウォーキングの後の
クリーンアップ
お疲れ様でした！



6月20日まで東京の
バードカービングクラブ
「木翔舎」の作品を
展示しました。
今にも動きそう！



多くの方に参加していただきました！
本当にありがとうございました

みんなで考えよう！ 見つめよう！ in 漫湖

昨年5月17日にオープンした当センターも、おかげさまで1周年を迎えました。
5月最後の週末に行われた記念行事の様をお伝えします。

1. 記念式典

センター前の広場で、記念式典が行われました。豊見城市長の挨拶、那覇市助役の祝辞の後、モモタマナ2本とユウナの木6本をみんなで記念植樹しました。JICA(国際協力事業団)の研修生も飛び入り参加。

今は小さな木ですが、将来は立派な林に育つよう見守ってください。



環境省奄美沖縄地区自然保護事務所の青山所長



みんなで力を合わせて

8本の木を記念植樹



2. 小中学生による漫湖に関する発表会 および寺田麗子さん講演会

地域の小中学生 4グループが、漫湖に関する日頃の学習成果を発表しました。どのグループも個性的で工夫を凝らした発表に、集まった大人も感心する力作ぞろい！

「アジア湿地子ども交流会に参加して」

中山 友理恵さん (長嶺中学校1年)

第2回アジア湿地ウィーク(韓国・中国・日本子ども湿地交流会)に日本代表のメンバーとして参加したときの報告です。

「環境を乱すのも人間、守るのも人間」という言葉が印象的でした！

「漫湖観察をとおして」

高良 海舟 (小祿小学校6年)

毎週末センターに通いながら、漫湖観察の成果をまとめました。乾電池をはかりにのせてトウネンの体重を表現したときには、豊見城市長も思わず「へえ～」と感心していました！

「身近なゴミ問題」

高良 海・山城 茉利奈・与那覇 柚希・与那嶺 忍・本村 晃輝・本吉 克敏 (鏡原中学校2年)

毎週1回、漫湖の清掃を続けて分かったことや、アンケート調査の結果をまとめました。「いくらゴミ拾いをしていてもゴミがなくなるのは、おそろしいなと思いました。」この切実な気持ちが大事ですね！

「国場川の汚れをなくすために」

徳田 黄穂・渡久知 美喜・翁長 理牙・中本 絵里・神谷 理沙 (仲井真中学校2年)

国場川の汚れについて調査しました。ドラえもんやスヌーピーなどが登場する紙芝居で、楽しく説明してくれました。壁新聞も大好評！

豊見城市長といっしょに
記念撮影



最後には、フリーアナウンサーで、環境ジャーナリストの寺田麗子さんから、みんなの発表について、感想をいただきました。

また、沖縄の水問題と森の話、節水の知恵など、普段の生活の中から環境を考えることの大事さを学びました。



3. 漫湖観察ウォーキング（子どもの部）

こどもの部の観察ウォーキングは13名の参加者に加えて、世界各国から来たJICAの研修生や、新聞の取材もいっしょで、にぎやかな観察会になりました。双眼鏡片手にいざ漫湖へ出発！

2グループにわかれ、観察した生き物をスケッチして、自分たちの図鑑作りをしました。男の子たちは、泥んこになってカニ探しに夢中！

観察の後は、クリーンアップのゴミ拾いをし、頑張ったみんなにセンターで感謝状が手渡されました。



4. 漫湖観察ウォーキング（一般の部）

普段、漫湖を見慣れているが、さらに漫湖の自然を知りたくて参加された9名の方と観察ウォークを行いました。講師は県立博物館の高原健二先生です。



この日は満ち潮でしたが、とよみ大橋下にわずかに残った干潟に集まった野鳥の観察、漫湖公園でのマングローブ・樹木観察、

そして、講師の紙芝居によるヤンバルクイナの現状や、

漫湖での渡り鳥の減少等の説明を受けました。最後に、クリーン・アップで汗を流し、充実した午後でした。



5. バードカービング教室

5月29日から30日の2日間、2階のレクチャー室においてバードカービング教室を行いました。

講師は東京のバードカービングクラブ「木翔舎」の宮下正之先生、斎藤聡一先生にお願いしました。



鳥の体の構造からお勉強

今回は、全員シロチドリを作りました。木の塊に鳥の命を吹き込む一つ一つの作業を、アドバイスを受けながら丁寧に参加者は進めていきました。



シロチドリの羽根はどうなっているのか？クチバシは？・・・普段あまり意識しない事を学び、発見する事ができたのではないのでしょうか？

そして、今後バードカービングを沖縄で広げる第1歩

となりました。



作品を手に、はい！ポーズ

受講生の作品→
2日で作りました！



←木翔舎の作品
まるで生きているよう！

漫湖水鳥瓦版12 ~コアジサシの舞う5月~

<野鳥情報>

	羽数	先月の比較
ゴイサギ	9	↑
アマサギ	12	↑
ダイサギ	15	↑
チュウサギ	13	↓
コサギ	2	↓
アオサギ	2	↓
クロツラヘラサギ	3	↓
ハシビロガモ	1	→
ミサゴ	2	→
パン	3	↑
ムナグロ	45	↓
ダイゼン	1	↓
トウネン	12	↑
キョウジョシギ	1	→
アカアシシギ	1	↓
キアシシギ	79	↓
イソシギ	2	↓
オグロシギ	10	↑
ダイシャクシギ	2	↓
チュウシャクシギ	11	↓
コアジサシ	4	↑
クロハラアジサシ	1	↑
合計	231	↓

5月の最多数(羽)

(注)矢印は先月の最多数と今月の最多数の比較になります。

(→同じ ↓少ない ↑多い)

おもしろ

発見!



展示室大型映像カメラより



5月29日
誰の巣?

トントンミー(トビハゼ)が泥を吐き出しているのが観察できました~



アマサギの集会
この時期になると漫湖に集まってきます。
なんでかなー?

<つれづれなるままに...管理日誌より>

- 5月1日 観察をしていると、オグロシギが10羽漫湖に降り立った。しかしすぐ旅立つ.....
- 5月9日 コアジサシが魚を狙い飛び込む。(初認)
- 5月14日 久しぶりのクロツラヘラサギ3羽!
(この日を最後に、漫湖からは姿を消しました)
- 5月16日 泥だらけの汚れたアオサギが出現。病気ののだろうか.....?
- 5月22日 突如トウネン(12羽)現れる。ひさしぶり!

ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ

< 団体利用状況 5月 >

保育園・幼稚園
大地保育園
学童・子ども会
しばみつ学童
小学校
垣花小学校 5年生
小禄南小学校 6年生
小禄小学校 4年生
宇栄原小学校 3年生
中学・高校
真和志高校インターメディア部
大学
琉球大学教養課程
医療・福祉関係
デイサービス民主診療所
天久台病院
デイサービスおもろまち
その他
近畿日本ツーリスト
池原老人会

	市町村名	人数
1	那覇市	1,016
2	豊見城市	155
3	県外	110
4	沖縄市	63
5	外国	46
6	糸満市	40

総入館者数

25,965 人

5月の入館者数

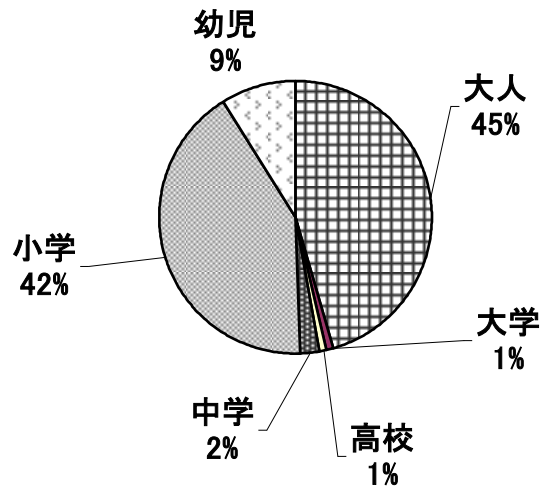
1,714 人

(うち団体 637 人)



クロツラヘラサギ
のクロン君

< 年代別入館者率 >



センターの1周年行事も無事終了。特に、小中学生の環境学習発表会には感心させられました。嫌なニュースも多い世の中で、こういう子どもたちを見るとうれしくなります。みんなの素直な気持ちと力強いメッセージは、その場にいた大人たちを感動させました!



米谷 保彦

< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 (環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市)>

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http:// www.geocities.jp/manko_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)